

中央会 Chuou kai Aichi

あいち



あいち百景



Contents

VOICE

中央会ニュースクリップ  
内田俊宏の経済トレンド  
景況天気図  
インフォメーション

愛知県中小企業団体中央会

<http://www.aiweb.or.jp>

商工中金は、国とともに、  
中小企業をサポートする公的金融機関です。

特長  
その

①

長期的な視点で  
安定したお取引

特長  
その

②

中小企業の経営課題に対応する  
総合的な支援

特長  
その

③

全国と海外のネットワークで  
ビジネスをサポート

特長  
その

④

協調と連携で  
地域経済の活性化の力に



商工中金

名古屋支店 052(951)7581

〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-18

● 地下鉄栄駅8番出口より徒歩1分

熱田支店 052(682)3111

〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭2-2-33

● 車で便利な熱田NTTタワー前

豊橋支店 0532(52)0221

〒440-0897 豊橋市松葉町3-71-2

● 豊橋商工会議所東100m

個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定(当金庫内比較)

固定金利の半年複利(元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

∥ 安心、確実、お得に増やす ∥

定期預金

マイハーベスト

企業の人事担当者の皆様へ

## 人材の確保・従業員の再就職を 支援しています



公益財団法人 産業雇用安定センター  
愛知事務所

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号 住友生命名古屋ビル4階

TEL: 052(583)8876 FAX: 052(583)8886



インターネットにより最新の人材情報を提供しています。

厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益財団法人

産業雇用

検索

福巖寺  
あきば大祭  
火渡り神事

12月9日(日)・小牧市

www.aichi-now.jp

愛知の  
旬の情報は、  
「Aichi Now」で  
チェック!

愛知の公式観光ガイド

Aichi Now  
OFFICIAL SITE FOR TOURISM AICHI



冬の夜を彩る  
イルミネーション  
が開催されます。  
カップルや、  
ご家族など  
大切な人と  
素敵な時間を  
過ごしに、ぜひ  
半田赤レンガ  
建物に足を  
運んで下さい。



半田赤レンガ建物

ウィンター・イルミネーション 半田市  
2018年12月2日(日)~2019年2月11日(月・祝)



# 伊藤 茂 常任理事に お話しを聞きました。

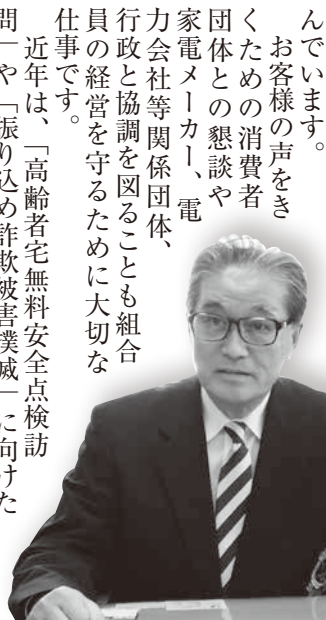
**■組合について教えてください**  
当組合は、愛知県内の地域家電小売業者「まちのでんきやさん」で構成されており、家電業界の改善発展を図ることを目的としています。  
組合の設立は、テレビ局がカラー放送を開始した昭和35年、東海地区では前年の伊勢湾台風被害から復興の最中でした。新たな家電製品が次々と開発されるに伴って、その販路も劇的に拡大し、厳しい市場環境に立たされた家電小売業者が団結して組合を発足させる運びとなりました。

愛知県内の家電小売業者82名で活動を開始した「愛知県ラジオテレビ電機小売商業組合」は、その後昭和37年に設立された全国組織の名称にあわせ、昭和39年9月「愛知県電器小売商業組合」と名称を変更し、さらに平成13年「愛知県電機商業組合」と改めました。

技術革新や環境対策等によって刻々と変化する家電業界の中で、組合員の経営改善に努め、もうすぐ60年が経ちます。今後も地域社会に根差し、信頼される「まちのでんきやさん」のために活動していきたいと思えます。

**■組合の活動について教えてください**

景品表示法、小売業表示規約、独禁法等の法令に基づき調査や改善指導、申告を行い、法令遵守に努めています。また、組合員の資質向上のため、家電製品の安全点検や新たな技術に関する講習会を開催しています。平成26年からは、一般社団法人日本電化協会主催の「スマートライフコンシェルジュ認定制度」を活用して省エネに関する知識の向上にも励んでいます。



近年は、「高齢者宅無料安全点検訪問」や「振り込め詐欺被害撲滅」に向けた高齢者宅への注意喚起、大地震に備える家具家電転倒防止対策の推進等も行っていきます。地域社会を支える存在として「まちのでんきやさん」の力の発揮どころだと思えます。

**■特に力をいれられていくことは何ですか？**

5年後10年後の未来を考えた組合運営を意識していますが、10年後は必ず次の時代の方々を中心となつて活動していくこととなります。次世代を担う方々の育成を特に重要なことと位置付け、家電業界にはメーカー系列がありますが、この枠を超えて取り組んでいます。

平成23年に約40名の後継者により愛知県電機商業組合青年部を創立しました。組合活動の骨組みに参加してもらい、運営を学ぶ目的で立ち上げましたが、それだけにとどまりません。後継者同士で悩みを共有し、お互いに経営や技術の相談、参考事例等の情報収集をすることで、それぞれの店の経営改善につながっているようです。組合もまた、彼らを執

**\*\* 組合プロフィール \*\***

組合名：愛知県電機商業組合  
 代表者名：伊藤 茂 (69歳)  
 設立年月：1960年9月  
 組合員数：700  
 住 所：名古屋市昭和区桜山町  
 四丁目 67 番地 4

**■趣味や休日の過ごし方を教えてください**

人に喜ばれることを生きがいとする私には、仕事も趣味も同じようなものかもしれません。休日も地域のお祭り等イベントのお手伝いをするのが度々あります。そこから意図せず仕事につながることもあって嬉しい限りです。

また、出勤前には朝風呂に入り、「NHK朝の連続テレビ小説」を2度見ることが日課にしています。毎日の朝風呂は、妻と結婚するときにお願ひしました。こうして清々しい朝を迎えると、仕事へのやる気が沸いてくるんですよ。

時代劇も好きで、「水戸黄門」「大岡越前」「暴れん坊将軍」の放映は欠かさず見えています。テレビは好きですよ。「でんきや」ですから家電製品はどれも好きで、心をこめて販売しています。



## あいち中小企業サミット2018開催 ～中小企業のためのBCP対策について～

本年は、西日本豪雨や北海道地震など大規模自然災害が多発し、サプライチェーンの寸断など被災地域のみならず全国的に大きな影響が出ました。愛知県では東海大地震の発生が高い確率で予想され、企業の存続を考えるうえで防災への対策が急務となっています。

昨年度、情報交換を通じて問題解決を探り、組合間交流により新たな連携を模索することを目的に新規事業として開催した組合交流会を、本年度は「平成30年度組合交流会～あいち中小企業サミット2018～」と題し、「大規模自然災害発生！その時、あなたは会社を守れますか？」をメインテーマに、去る11月19日（月）名古屋市中区の東京第一ホテル錦で開催しました。

交流会では、主催者代表として長谷川正己中央会会長の挨拶、柴山政明愛知県産業労働部中小企業金融課長の来賓ご挨拶の後、名古屋大学減災連携研究センター教授・センター長 福和伸夫氏による基調講演が行われました。



主催者挨拶  
長谷川正己中央会会長



来賓挨拶  
愛知県産業労働部中小企業金融課長  
柴山政明氏

### 【第1部】基調講演 「次の震災について本当のことを話してみよう」

名古屋大学減災連携研究センター教授・センター長 福和 伸夫氏



基調講演では、「次の震災について本当のことを話してみよう」をテーマにご講演いただき、「伊勢湾台風」や「阪神・淡路大震災」等の過去の災害と「大阪府北部地震」（6月）、西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」（7月）、「北海道胆振東部地震」（9月）等の最近の災害の比較から、現代の大都市災害への脆弱性を訴えました。また、近年発生が予測されている南海トラフ地震については、発生度に日本の歴史を変えてきたことが説明されました。

大規模災害発生時には行政支援のみでは対処しきれないことから、中小企業各社による事前対策と地域内連携の必要性を強調されました。



## 【第2部】パネルディスカッション

### 「大規模災害に備え、事業継続のために中小企業・組合が取り組むべきこと」

パネルディスカッションでは、MS&AD インターリスク総研(株)上席コンサルタント 岡村和弥氏をコーディネーターに、各業界で活躍される3名に愛知県産業労働部中小企業金融課 春田繁伸主幹を加えた4名をパネリストとして、BCP（事業継続計画）への取り組みについて語って頂き、参加者は熱心に耳を傾けていました。



コーディネーター  
MS&AD インターリスク  
総研株式会社  
上席コンサルタント 岡村和弥氏



パネリスト  
刈谷機械工業協同組合  
刈飯工業株式会社  
取締役副社長 江原圭亮氏



パネリスト  
愛知県印刷工業組合  
株式会社マルワ  
代表取締役 鳥原久資氏



パネリスト  
大府新江工業団地協同組合  
副理事長 三品富康氏



パネリスト  
愛知県産業労働部  
中小企業金融課  
主幹 春田繁伸氏

## 【懇親会】

第1部、第2部終了後は、交流懇親会を開催しました。早川隆雄中央会副会長による乾杯で開会し、懇親会中は終始和やかな雰囲気の中、参加者同士の懇親を深めるとともに、企業における自然災害対策やBCP策定等について各所で意見交換がなされ、参加者からは「大規模自然災害の怖さを知ることができた」「同業他社の取り組みについて知ることができ、参考になった」「自社のBCP策定についてのヒントを得ることができた」等の感想をいただきました。宴たけなわの中、滝 幹夫中央会副会長の中締めにより閉会となりました。



乾杯で発声  
早川隆雄中央会副会長



中締め挨拶  
滝 幹夫中央会副会長

## 東三河 組合役職員年末懇親会 2018 開催

平成30年11月29日(木) ホテルアソシア豊橋において、「東三河 組合役職員年末懇親会2018」を開催しました。

この懇親会は、農業や林業とともに自動車産業を中心とした工業も集積する東三河地区において、会員組合の皆様へ地域振興や異業種交流の場を提供させていただき、中小企業が抱える様々な問題の解決策のヒントに繋がることを目的に開催しました。

開会にあたり、当会専務理事 石川泰三より挨拶申し上げ、愛知県東三河総局 企画調整部 産業労働課長 鈴木伸嘉氏より、来賓ご挨拶を頂戴いたしました。

第一部は、地域活性化に焦点を当て、「スポーツを活用したまちづくり」をテーマに、(株)フェニックス 代表取締役社長 北郷謙二郎氏に地元バスケットボールチーム「三遠ネオフェニックス」の活動についてご講演いただきました。

第二部の交流懇親会は、三河地区を中心に活動する女性チーム『わ太鼓「咲楽」』による太鼓演奏で幕を開け、参加者は、迫力満点の演奏を楽しみ、各テーブルで交流を深めていました。

後半には、豪華賞品が当たる抽選会も開催され、会場内の熱気も高まりました。

当該地域での大規模な交流会開催は平成11年以来19年ぶり、組合役職員年末懇親会としては初の試みとなりましたが、業種や地域の垣根を超えた組合間交流が活発に行われ、参加者からは「日頃話することがない地元組合の方と懇親が深められてよかった」「組合運営について意見交換ができてよかった」等の感想をいただき、盛会のうちに終了しました。



# 内田俊宏の 経済トレンド



外国人労働者受け入れ体制の整備  
中京大学 経済学部 客員教授 内田 俊宏

## 外国人受け入れの新制度導入へ

2019年4月に政府が導入を目指す外国人労働者の受け入れ制度の骨子が明らかとなった。新制度では、農業や介護、建設などの14分野で新しい資格を創設する。外国人の在留資格を2つに分け、家族の帯同が認められるケースと認められないケースに分けられる。家族の帯同が認められないケースの在留期間は最長5年だが、技能実習生がこの資格を取得した場合、5年の在留期間と合わせて日本で10年間働けるようになる。

さらに難しい試験に合格し、熟練した技能を持つと認定された外国人労働者には、在留期間の上限を設けず事実上の永住を認める。この場合には家族の帯同も許され、母国から家族を呼び寄せて日本で一緒に暮らすことも可能になる。在留資格は毎年審査して更新される。当面は認定試験を実施しない方針だが、将来的には、事実上の永住権を持つ外国人労働者を受け入れる方向といえる。ハードルは高いもの、日本に永住して日本人と同じように働きたいと考える高度な外国人人材にとっては朗報だろう。

## 新制度導入の経済的背景

外国人労働者の受け入れ制度を導入する背景には、中小企業や特定の業種・職種を中心に慢性的な

人手不足が続いていることがある。19年1月には「いざなぎ景気」超えて戦後最長の景気回復局面が確実視される中、中小の下請け企業やコンビニなどの小売業、農業分野などでは、技能実習生などの外国人労働者の存在感が増している。

また、国内の少子高齢化や雇用のミスマッチのほか、東京一極集中により若年労働力が不足気味となっている状況もある。中長期的に労働力不足が予想される状況で、外国人労働者に依存せざる得ない現状が続いている。

## 愛知県にとっての外国人労働者

今回の制度は、製造業や農業が盛んな東海地域にとっても重要な意味を持つ。政府が想定する特定技能の14分野には、愛知県に産業集積の高い素材材産業や産業機械製造、電子・電気機器関連が入っているほか、今後、成長分野として期待される航空機産業や宿泊・外食産業なども含まれている。愛知県は農業算出額が全国8位の農業県でもあるが、農業や介護、建設業などもあり、愛知県経済への影響も大きい。

愛知県の在留外国人は東京都に次いで全国で2番目に多い水準となっている。昨年末時点で約24万人と、アベノミクスが始まった13年以降は増加傾向で

ある。愛知労働局によると、愛知県内の外国人労働者数は昨年10月末時点で13万人弱と在留外国人の半分強を占めている。国・地域別では、日系ブラジル人が最も多く、製造業の下請け部品メーカーなどを支えている。

## A1代替の限界と若年労働力

近年、研究開発が進むAIやロボットの活用は、労働力を代替できる分野に偏重があることに加え、東海地域の産業構造上、AIで代替しにくい業種や職種のウエイトが高いというデメリットもある。現在、東海地域の求人倍率は東京などの大都市圏と並んで全国トップクラスだが、首都圏や近畿圏との人材獲得競争は一層激化し、労働力不足が産業構造上のボトルネックとなる可能性が高い。

特に首都圏に対して流出超過となっている若年労働力の問題は深刻である。愛知県の人口は社会増が続いているものの、若年人口は、流入超の男性と流出超の女性との間で男女間の人口バランスが悪く、中長期的には、労働力不足に加え、合計特殊出生率の低下という悪影響まで懸念される。外国人労働者の取り込みには企業側の待遇改善も不可欠だが、加えて、若者や女性にとって魅力的な職場環境の整備や、雇用の受け皿となるIT産業や観光関連などの第3次産業のウエイトが高い産業構造へのシフトも重要となる。

若者や女性だけでなく、高度な外国人材を吸引する産業育成や企業誘致を強化し、人手不足の時代でも強固な産業構造を維持することが必要である。東海地域出身者で、首都圏などで一定期間高度なスキルを身につけた人材のUターン就職も積極的に支援する必要があるだろう。

### Profile

1968年青森県生まれ。91年一橋大学経済学部卒業。02年名古屋大学大学院経済学研究所博士前期課程修了。91年野村證券。93年東海総合研究所(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング)。15年4月中京大学経済学部客員教授。現在、テレビやラジオのニュース番組などのコメンテーターを務めるほか、国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋港管理組合、青森県などの委員も務める。専門はマクロ経済、地域経済。



この情報は、中央会傘下の県下主要業界組合に配置した112名の情報連絡員から寄せられた各業界の景況報告を集計したものです。情報連絡員は全国に約3,000名配置され、全国集計も行われています。

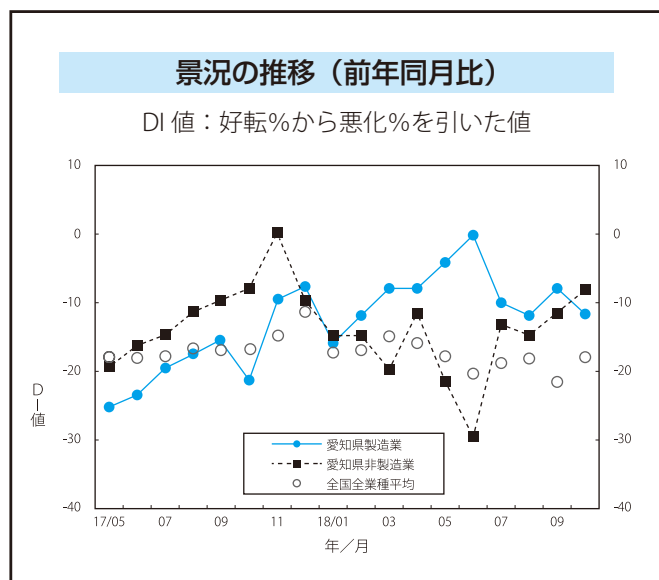
## 【2018年10月分】

### 景況天気図（対前年同月比）

凡例	好転 +30 ≤ DI	やや好転 +10 ≤ DI < +30	変わらず -10 ≤ DI < +10	やや悪化 -30 ≤ DI < -10	悪化 DI ≤ -30

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	操業度	雇用人員	景況
製造業									
非製造業									

### ●●●● 業界レポート ●●●●



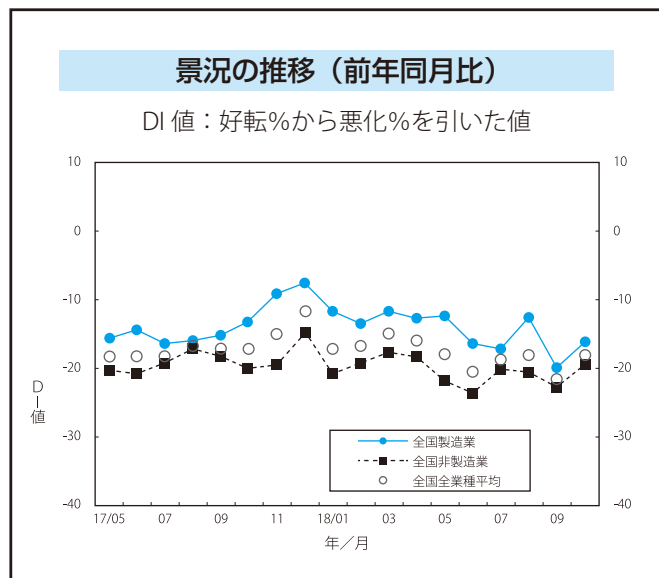
#### 【製造業】

**食料品**：小麦粉値上げの価格転嫁ができていないにもかかわらず、年末には大幅な麵用粉の値上げ発表があった。今回の値上げの価格転嫁が年明けからできないと死活問題になってしまう。  
**化学・ゴム**：荷動きは順調に推移しているが、原油価格が上昇傾向にあり、輸送経費等に影響して採算悪化が懸念される。  
**輸送用機器**：夏から秋にかけて、大きな変動もなく多忙な毎日が続いている。車関係を中心に、従業員不足を生じながら企業努力に努めている。

#### 【非製造業】

**卸売業**：10月からの最低賃金引き上げで、各組合員も対応はしているものの、人件費の上昇分をどこでカバーするか苦慮している。販売価格を上げたいところだが、競争力低下や売上減少が懸念される。  
**小売業**：今月は何とか売上が維持できたが、厳しい状況に違いはない。メーカーは方針変更し、デパート、GMSを中心にしたため、小売店はますます厳しくなりそう。  
**運輸業**：乗務員雇用が減少している。

### ●●●● 業界レポート（全国） ●●●●



#### 【製造業】

**食料品（島根県）**：主原料、副資材、人件費、運賃すべてのコストが上昇。しかし、製品の値上げは思うようにできていない。量目変更で対応している。  
**化学・ゴム（東京都）**：原料の値上がりだけでなくタービンオイルや灯油も値上がりしており、利益を圧迫している。特殊な製品も受注が減少しはじめ、先細りになってきた感がある。  
**輸送用機器（静岡県）**：台風24号の影響で、停電による操業停止が多発した。人手不足は深刻で、新たに外国人技能実習生の受け入れを始めた企業も出ている。

#### 【非製造業】

**卸売業（東京都）**：工事向電線に動きが出てきた。オリンピック・パラリンピックに向けて、建設現場が電線の手配を始めた模様。人手不足や運賃の値上げが懸念される。  
**小売業（広島県）**：野菜相場、魚相場の高値傾向は当面継続の見通し。相場高に伴い、値上げ分を販売価格に転嫁したため売上高は上がっているが、収益面では厳しい。  
**運輸業（兵庫県）**：慢性化しているドライバー不足、異常な値上げ続きの燃料費負担増、上がらない運賃等で、組合員事業所の経営状況は更に悪化している。

（出典：全国中小企業団体中央会 HP より）

## お知らせ

### 愛知県中小企業団体中央会 新年祝賀会

中小企業組合関係各位が一堂に会し、心新たに互いの発展を期するため、新年祝賀会を下記により開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成 31 年 1 月 16 日（水） 11：30～13：30
- 場 所：キャスルプラザ 4階 鳳凰の間  
名古屋市 中村区 名駅 4-3-25 TEL：052-582-2121
- 会 費：1 名様につき 10,000 円
- 申込・お問合せ：総務部 052-485-6811（担当 古閑・榊原）



### 「愛知県の特定最低賃金」の改定について

愛知県内の特定の産業に適用される 7 業種の特定最低賃金について、平成 30 年 12 月 16 日に改正されました。

愛知県の最低賃金の詳細につきましては、同封の資料又は愛知労働局ホームページ ([https://jsite.mhlw.go.jp/aichi-roudoukyoku/jirei\\_toukei/chingin\\_kanairoudou/saiteichingin\\_toukei/saiteichingin.html](https://jsite.mhlw.go.jp/aichi-roudoukyoku/jirei_toukei/chingin_kanairoudou/saiteichingin_toukei/saiteichingin.html)) をご覧ください。

### 「愛知県働き方改革推進支援センター」のご案内

厚生労働省では、働き方改革に向けて、特に中小企業・小規模事業者の方々が抱える様々な課題に対応するため、ワンストップ相談窓口として、「働き方改革推進支援センター」を 47 都道府県に開設しております。

各センターでは、それぞれに配置している、社会保険労務士などの専門家が、無料で事業主の方からの労務管理上のお悩みをお聞きし、就業規則の作成方法、賃金規定の見直しや労働関係助成金の活用などを含めたアドバイスを行います。

詳細は厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000198331.html>) をご覧ください。

### 危険がそこに迫っている！サイバー犯罪の被害に遭わない為の早期対策を！！

昨今、サイバー犯罪による被害が大企業だけに留まらず、中小企業にも広まっています。

その被害を未然に防ぐために予めどのような対策が必要なのかを自社の現状を踏まえたうえで検討する必要があります。そこでサイバー犯罪対策課では、サイバー犯罪の危険性やその対策の必要性を知って頂くために、講師をあなたの会社や団体へ派遣し、サイバー犯罪防止講話の開催を行っております。ぜひこの機会に一度情報セキュリティについて見直しを行ってみてはいかがでしょうか。

ご不明な点等ございましたら、愛知県警察本部生活安全部 サイバー犯罪対策課（電話番号：052-951-1611）までお尋ねください。

また、サイバー犯罪を未然に防止するための手口や対策を紹介している「サイバー犯罪対策通信」も以下の URL よりご覧いただけます。

<http://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/osirase/tuusinn.html>

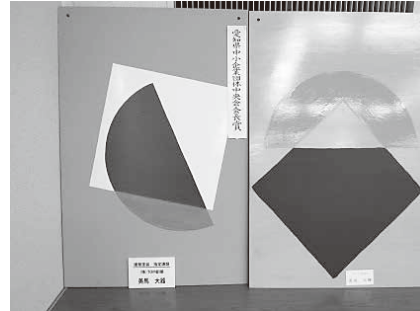


## イベントレポート

### 第53回愛知県塗装技能作品展 開催

11月7日（水）・8日（木）の2日間、中部塗装技術研究会、愛知県工業塗装協同組合、愛知県塗装工業協同組合主催による「第53回愛知県塗装技能作品展」が、名古屋市工業研究所展示場（名古屋市熱田区）において開催されました。

作品展は、塗装技術の研鑽の場として技能向上を図ることを目的に毎年開催されています。褒章には中部経済産業局長賞や中部地方整備局長賞があり、中央会会長賞も展示されていました。



### 地産・地消：第4回とうふまつり 開催

11月17日（土）・18日（日）の2日間、金山総合駅コンコース（名古屋市熱田区）において、愛知県豆腐商工業協同組合主催の「地産・地消：第4回とうふまつり」が開催されました。

当日は、愛知県産の大豆（フクユタカ）を使った豆腐の試食・販売が行われ、生産者がこだわって作った手作りの味がPRされました。また、17日（土）に行われた表彰式では、9月20日（木）に組合事務所内で開催された「第4回豆腐品評会」で選ばれた、東海農政局長賞、愛知県知事賞、名古屋市市長賞、愛知県中小企業団体中央会会長賞の授与が行われました。



### 2018 ふれあい市場まつり 開催



11月11日（日）、名古屋中央卸売市場本場（名古屋市熱田区）において「2018 ふれあい市場まつり」が開催されました。

市場の機能・役割や、食の重要性について知ってもらい、市場を身近に感じてもらうため、模擬せり、生鮮食料品の卸売などが行われました。

当日は晴天のもと、家族連れなど大勢の来場者で賑わい、せりの体験や買い物を楽しんでいました。

## メッセナゴヤ 2018 開催

11月7日（水）から11月10日（土）にかけて、ポートメッセなごや（名古屋市港区）において日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2018」が開催されました。第13回目となる今回は、「商機融合～交わり起こる相乗効果～」をテーマに、過去最多となる1,437社・団体が出展し、4日間の来場者数は6万1,952人となりました。

本会では「ものづくり補助金」の成果発表のブースを出展し、ものづくり補助金事業者6社による事業化の成功事例を展示・発表しました。当ブースにも4日間で合計1,482名の方に足を運んでいただき、参加事業者による説明や商談が行われました。

今回出展した参加事業者からは、「様々な業種の企業と出会え、実に面白いイベントだった」、「伝えたいこと、売り込みたいこととは異なることに興味を持たれた方が多く勉強になった」等の感想が寄せられ、それぞれの企業の事業紹介の絶好の機会となり、好評を得ました。



## 愛知県中小企業情報研究会 視察研修を開催しました！

11月29日（木）愛知県中小企業情報研究会視察研修会を開催しました。今回の研修会では、三菱電機株式会社稲沢製作所及びキリンビール名古屋工場を見学しました。事務局を含め12名が参加し、世界最高レベルのエレベーター試験塔「SOLAÉ（ソラエ）」の見学やビールの試飲等を楽しみました。

当日は晴天にも恵まれ、エレベーター試験塔最上階の展望台からは一宮市の「ツインアーチ 138」や名古屋駅のツインタワー等まで見渡すことができました。



## イベントカレンダー

中央会	日	時間	イベント名	場所
	1月16日（水）	10：30	正副会長会	キャッスルプラザ
	1月16日（水）	11：30	新年祝賀会	キャッスルプラザ

組合	日	イベント名	組合名	場所
	1月23日（水）	第33回学習塾情報展	愛知県私塾（協）	ウインクあいち





未来を描く、おてつだい。

未来は、来るものではなく、自分で描くもの。

私たちは、お客さまの長い人生を  
いっしょに考え、サポートしていきます。

三井生命保険株式会社 名古屋支社

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-4-6 三井生命ビル12F TEL:052-231-3852 <https://www.mitsui-seimei.co.jp/>

## 三井生命では各組合の皆様へ各種セミナーを実施しております(無料)

### ◆セミナーコンテンツ例

- ・事業承継（生命保険を活用した事業承継対策）
- ・公的年金とライフプラン
- ・知っておきたい賢い生命保険の活用法
- ・公的介護保険制度を知ろう など

2017年度は上記のセミナーを26協同組合にて実施させて頂きました。多くの経営者より個別に相談も頂いております。お気軽にご相談ください。

※セミナー実施についてのご照会先は

名古屋市中区錦1-4-6 三井生命保険株式会社 TEL 052-231-3852

B-2018-5133(2018.4) 使用期限 2019.3.31

## 愛知県パン協同組合

理事長 長谷川 正 己  
副理事長 光 田 充  
副理事長 中 島 政 志

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目20番29号

TEL 〈052〉962-6371

FAX 〈052〉962-6377

## 名古屋中央市場水産物協同組合

理事長 浅 岡 哲 也

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11番3号  
中央水産ビル

TEL 〈052〉583-3811 FAX 〈052〉561-0792

※広告内容に関する責任は、広告主に帰属します。

※2019年度に発行する「中央会あいち」に掲載する広告を募集しています。

お問合せ：労働企画部 TEL:052-485-6811

